平成30年度市民提案型協働事業採択団体を紹介します！

市は、市民活動団体（NPO法人やボランティア団体など）の活動を応援するため、「市民提案型協働事業」を実施しています。

平成30年度は、これまでに活動実績がある３団体と、これから新しく活動を立ち上げる３団体の事業を採択しました。

●問合せ先　コミュニティ推進課コミュニティ推進係☎72-2111

協働事業補助金

市民活動団体が提案する、市と協働して地域課題の解決にあたる事業を支援しています。活動実績が1年以上の団体が対象です。

団体名：下町ふれあい広場

下町ふれあい広場事業

下町区で、誰でも集まって交流できる居場所づくりを行っています。週に一度公民館を開放し、子どもから高齢者までが自由に訪れ、会話を楽しんだり宿題をしたりして過ごします。

また、そうめん流しやおはぎ作り、クリスマス会など、季節の行事も毎月実施。特に子どもたちにとって、自宅や学校ではできない体験の機会を提供しています。

▲８月は七夕飾りを作りました

▲三沢遺跡の森で、山野草の調査

団体名：NPO法人 三沢遺跡の森を育む会

三沢遺跡内遊休地の整備・保全・再生と森林環境教育活動

三沢遺跡の森を拠点に、５年前に保全・再生活動をスタート。今年度は、小郡市で生まれた「伊吉櫨（いきちはぜ）」に注目し、苗木の生産と植樹を実施します。また、古代米の田植えや稲刈りを体験できる歴史体験フィールドの整備、山野草の植栽なども予定し、高齢者が生きがいや、やりがいを感じられるような活動をめざしています。

団体名：手芸ボランティア　ねこの手

手芸・リフォームを通じた高齢者支援事業

高齢者の生きがいづくりを目的に、手芸や着物のリフォームを行っています。作品は、福祉団体などに提供したり、販売して売り上げを寄付したりしており、10月28日（日）のあすてらすフェスタにも出店予定です。着物を譲り受ける際、その着物の思い出を話してくれる人も多く、高齢者のコミュニケーションのきっかけにもなっています。

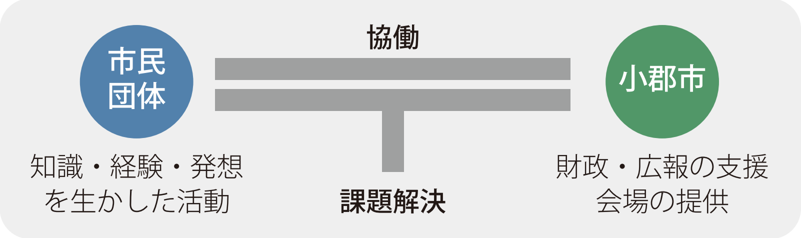
▲あすてらすフェスタに向けて制作中です！

市民提案型協働事業とは

市と市民活動団体が対等な立場で協働し、地域課題を解決しようとする取組です。協働で事業を行うことで、独自に活動するよりも効果的に進めることができます。

団体は、知識や経験、発想を生かし、地域課題を解決するような事業に取り組みます。

市は、団体に対して財政・広報の支援、会場の提供などを行います。



スタート応援補助金

市民活動をこれから始めたい、団体を立ち上げたいと考えている人の、新たな取組のスタートを応援しています。

団体名：あっと♡ほーむ

みんなの居場所プロジェクト

障がいがある人とない人が理解し合い、安心して過ごせる地域づくりをめざしています。障がいがある子どもを育てる親を対象に交流会を開催し、集まった当事者の声をもとにハンドブック作成の企画を進めます。

10月13日（土）生涯学習センターで、講演会・交流会を開催します。長年障がい児教育に携わった経験を持つ、木藤政博さんをお招きします。

▲小郡を笑顔あふれる居場所にしたい！

▲９月は約50人が参加しました

団体名：Earth Challenger（あーすちゃれんじゃー）

シュシュプレイス（多世代交流事業）

希みが丘区内で、高齢者の生活の質の向上や、子どもの健全育成を目的に活動している団体です。この事業では、季節の食材を使ったランチカフェやレクリエーションを通して、地域の多世代交流の場を提供します。

次回は11月4日（日）、希みが丘公民館で開催します。ギターサークル「のぞみギター」の演奏もあります！

団体名：おごおりこどもひろば実行委員会

おごおりこどもひろば

子どもたちが、安全に、安心して過ごせる地域づくりをめざして、小郡校区を中心に活動しています。ひろばでは、子どもたちが勉強や読書をしたり、友達と遊んだり、食事をしたりと自由に過ごすことができます。

８月は、夏休みの宿題をしたり、紙粘土で作品を作ったりして楽しみました。

▲地域の皆さんとお昼ごはんを食べました